

## 令和7年6月3日（火曜日）

### ○出席議員（13名）

|     |           |      |           |
|-----|-----------|------|-----------|
| 議長  | 七 田 満 男 君 | 7 番  | 恩 道 正 博 君 |
| 1 番 | 福 島 誠 一 君 | 8 番  | 北 川 悦 子 君 |
| 2 番 | 中 村 聡 君   | 9 番  | 夷 藤 満 君   |
| 3 番 | 土 屋 克 之 君 | 10 番 | 清 水 文 雄 君 |
| 4 番 | 西 尾 雄 次 君 | 11 番 | 中 川 達 君   |
| 5 番 | 磯 貝 幸 博 君 | 12 番 | 南 守 雄 君   |
| 6 番 | 川 口 正 己 君 |      |           |

### ○説明のため出席した者

|  |             |   |               |
|--|-------------|---|---------------|
| 町 長  | 生 田 勇 人 君   | 町 民 福 祉 部 長   | 源 多香子 君       |
| 副 町 長  | 山 崎 真 聡 君   | 町 民 福 祉 部 住 民 課 担 当 課 長<br>(環境管理室長)                                       | 川 本 静 絵 君     |
| 教 育 長  | 桐 山 一 人 君   | 町 民 福 祉 部 子 育 て 支 援 課 長   | 高 木 雄 樹 君     |
| 総 務 部 長  | 松 井 賢 志 君   | 町 民 福 祉 部 保 険 年 金 課 長   | 舟 野 裕 美 君     |
| 総 務 部 担 当 部 長<br>(税 務 担 当)                             | 北 野 享 君     | 町 民 福 祉 部 保 険 年 金 課 担 当 課 長<br>兼 福 祉 課 担 当 課 長<br>(保健センター所長兼地域包括支援センター所長) | 上 前 久 美 子 君   |
| 町 民 福 祉 部 長  | 助 田 有 二 君   | 町 民 福 祉 部 福 祉 課 長   | 秋 田 博 之 君     |
| 町 民 福 祉 部 担 当 部 長<br>(住 民 ・ 子 育 て 支 援 担 当)             | 山 田 卓 矢 君   | 都 市 整 備 部 企 画 課 長   | 奥 田 隆 幸 君     |
| 都 市 整 備 部 長  | 上 前 浩 和 君   | 都 市 整 備 部 企 画 課 担 当 課 長<br>(復興推進室長)                                       | 法 利 康 博 君     |
| 都 市 整 備 部 担 当 部 長<br>(企 画 ・ 地 域 産 業 振 興 ・ 復 興 推 進 担 当) | 宮 本 義 治 君   | 都 市 整 備 部 地 域 産 業 振 興 課 長<br>兼 観 光 振 興 室 長                                | 石 垣 泰 司 君     |
| 教 育 委 員 会 教 育 部 長                                      | 中 川 裕 一 君   | 都 市 整 備 部 都 市 建 設 課 長   | 四 月 朔 日 松 英 君 |
| 消 防 本 部 消 防 長  | 重 島 康 人 君   | 都 市 整 備 部 上 下 水 道 課 長   | 宮 崎 重 幸 君     |
| 総 務 部 総 務 課 長  | 渡 辺 崇 君     | 会 計 管 理 者 兼 会 計 課 長   | 長 谷 川 万 里 子 君 |
| 総 務 部 総 務 課 担 当 課 長<br>(人 事 秘 書 担 当)                   | 安 下 美 智 子 君 | 教 育 委 員 会 教 育 部 学 校 教 育 課 長   | 古 賀 敦 子 君     |
| 総 務 部 財 政 課 長  | 北 正 樹 君     | 教 育 委 員 会 教 育 部 文 化 ス ポ ー ツ 課 長<br>兼 図 書 館 長 兼 男 女 共 同 参 画 室 長            | 中 村 友 和 君     |
| 総 務 部 税 務 課 長  | 吉 田 真 理 子 君 | 消 防 本 部 消 防 署 長   | 中 本 潤 君       |

消防本部消防課長 平松秀庸君

○職務のため出席した事務局職員

事務局 局長 堀川竜一君      事務局 書記 中村円香君  
事務局 参事兼次長 川端誠矢君

○議事日程（第1号）

令和7年6月3日      午後1時開議

日程第1

会議録署名議員の指名について

日程第2

審議期間の決定について

日程第3

諸般の報告について

日程第4

選任第4号 常任委員会委員の選任について

日程第5

選任第5号 議会運営委員会委員の選任について

○議事日程（第1号の追加1）

日程第1

許可第1号 議会広報対策特別委員会委員の辞任について

○議事日程（第1号の追加2）

日程第2

選任第6号 議会広報対策特別委員会委員の選任について

○議事日程（第1号の追加3）

日程第3

選挙第1号 河北郡市広域事務組合議会議員の選挙について

○議事日程（第1号）

日程第6

議案一括上程

議案第45号 令和7年度内灘町一般会計補正予算（第2号）

議案第46号 令和7年度内灘町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）

議案第47号 令和7年度内灘町後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）

議案第48号 令和7年度内灘町介護保険特別会計補正予算（第1号）

議案第49号 令和7年度内灘町水道事業会計補正予算（第1号）

議案第50号 令和7年度内灘町下水道事業会計補正予算（第1号）

議案第51号 機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について

議案第52号 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について







習用タブレット端末 2,383台] までの10議案を一括して議題といたします。

なお、今6月会議に提出された議案につきましては、お手元に配付してあります議事日程(第1号)に記載のとおりでありますので、ご了承願います。



#### ○提案理由の説明

**○議長【七田満男君】** 提出議案に関し、これより町長から提案理由の説明を求めます。  
生田勇人町長。

[町長 生田勇人君 登壇]

**○町長【生田勇人君】** 本日ここに、令和7年内灘町議会6月会議が開催されるに当たり、本会議に提出しております議案の提案理由並びにその概要についてご説明申し上げます。議員各位並びに町民の皆様のご理解とご協力を賜りたいと存じます。

初めに、津幡町出身の大の里関が、先月の大相撲夏場所において二場所連続で優勝を果たし、第75代の横綱に昇進いたしました。初土俵から僅か13場所での横綱昇進は史上最速とのことであり、県出身者の横綱誕生は、輪島関以来52年ぶりとなる快挙であります。

大の里関におかれましては、昨年2月、本町の避難所となっていた展望温泉ほのぼの湯に慰問に訪れていただいたご縁もあり、一日も早く震災からの復旧・復興を願う被災者に勇気と感動を与えてくれました。

今後も、被災したふるさと石川を、そして横綱ご自身もゆかりのあるここ内灘町も元気づけていただけるよう、唯一無二の横綱としてますますご活躍されますことをご期待申し上げます。

さて、先月11日、第37回世界の凧の祭典を開催いたしました。

能登半島地震の影響により2年ぶりの開催となりましたが、県内外から多くの団体や愛好家の皆様にご参加いただき、改めてこの祭典が、全国に発信できる貴重なイベントであ

ることを実感いたしました。

当日は、凧揚げには絶好のコンディションとなり、復興への願いを込めて青空に高く舞い上がる大凧の姿は、私たちに大いに勇気づけてくれました。

また、翌週の18日には、芸能と文化の祭典である第27回アカシアロマンチック祭を開催いたしました。

ハマナスポケットパークをメイン会場に、文化協会による絵画や工芸、生け花などの体験コーナーが行われたほか、野外ステージでは大正琴やフラダンスが披露されました。さらにはフリーマーケットやキッチンカーなどの出店もあり、アカシアの花が満開に咲き誇る会場周辺は、多くの参加者でにぎわいを見せておりました。

昨年は、震災により各種行事やイベントの中止を余儀なくされておりましたが、今後は、震災からの復旧・復興とともに、多くの人が楽しめるイベントも積極的に開催し、町のにぎわいを図ってまいります。

去る5月20日から24日にかけて、被災した8地区を対象に住民説明会を開催いたしました。

説明会では、道路や公共施設の復旧・再建、災害公営住宅の整備など、これまでに国や県など関係機関との協議を通じて取りまとめました、復旧・復興に向けた進捗状況及び今後のスケジュールをお示するとともに、液状化対策に係る実証実験及び土地境界の明確化に向けた地籍調査事業の概要について、ご説明いたしました。

住民の皆様のご理解を深めていただけるよう、これらの事業については、今後、各地区のまちづくり協議会や被災された方々とともに、専門家を交えた勉強会を重ねてまいります。また、町においても、7月から組織体制を改編し、新たに「復旧復興推進部」を創設し、専門的に進めてまいります。

復興までには長い道のりとなりますが、私の基本理念である「対話による新しいまちづ

くり」を念頭に、住民の皆様と合意形成を図りながら、再び安心して暮らせる地域、そして持続可能な地域づくりを必ず実現してまいります。

さて、町長選挙の関係で骨格予算とした令和7年度当初予算に、さらなる災害関連予算や政策関連予算を追加するため、今6月会議に約22億6,000万円規模の補正予算案を提出させていただきました。

まず、早期の復旧・復興を進めるため、3月に策定した災害復興計画に基づき、災害関連予算を重点的に計上いたしました。

生活インフラの復旧においては、道路や公園、消防施設の復旧工事を進めるとともに、液状化対策の実証実験や地籍調査事業に係る調査費を計上しております。

また、教育・保育環境の早期復旧を図るため、西荒屋小学校の復旧工事に着手するほか、北部保育所の現地での再建に向けた実施設計を行います。

あわせて、鶴ヶ丘テニスコートなど体育施設の復旧工事に着手し、生涯学習環境の整備を進めてまいります。

さらに、地域コミュニティの拠点となる公民館の再建にも取り組み、西荒屋及び室公民館では、建物の再建に向けた実施設計を行うとともに、再建までの期間、代わりとなる仮設集会施設の借り上げを行います。

そのほか、被災施設のコミュニティ活動維持に係る支援制度の拡充を行うとともに、新たに、被災地域におけるイベント開催を支援する制度を創設することで地域の絆を深め、コミュニティ活動を継続的に支えてまいりたいと考えております。

地域の皆様が一日でも早く、かつての日常を取り戻せるよう、今後も復旧・復興に全力で取り組んでまいります。

次に、政策関連予算についてでございます。

発災以降、町の人口は、より加速度を増して減少しております。人口減少対策は待った

なしであります。

そのような中、町独自の魅力ある施策を実施し、将来にわたって希望を持てるまちづくりを推進することで、人口流出の抑制を図ってまいります。

まず、学校給食費の無償化についてでございます。

昨今の物価高騰により、我々日本人の主食である米の価格が1年間で2倍以上に上昇するなど、家庭への経済的負担がより一層増してきております。

町では、中学校の学校給食費の無償化に加え、今年度2学期から小学生の給食費につきましても無償化し、さらなる子育て世帯の負担軽減を図ってまいります。

また、近年の猛暑による熱中症対策として、公共施設の空調整備を推進してまいります。

向栗崎保育所では、遊戯室において空調設備の設置工事を行うほか、内灘中学校体育館や学校給食共同調理場では、空調整備に向けた調査設計を行います。子供たちを熱中症の危険から守るとともに、働く方々への労働環境の改善を図ってまいります。

今後、安心して子育てができる環境づくりを行うため、各種子育て支援事業に取り組んでまいります。

次に、コミュニティバスの無償化についてでございます。

高齢化が進む中、高齢者の外出機会の確保や、車の運転に不安のある方に運転免許証の自主返納を促進するため、本年10月から、町内の70歳以上の方を対象に、コミュニティバスの無料パスポートを提供いたします。

高齢の方々が安心して町内どこでも何回でも外出し、活力ある生活を送っていただけるよう、今後も、地域に根差した公共交通の活性化を図り、住民福祉サービスの向上を目指してまいります。

このほか、公共施設においては照明のLED化工事や各種改修工事を行うとともに、保

育所や学童保育クラブにおいては一時保育料の支払いにキャッシュレス決済を導入するなど、時代のニーズに対応した施設へ計画的に更新していくことで、町民の皆様の利便性向上を図ってまいります。

これから本格的な梅雨の時期を迎えます。能登半島地震に加え、昨年9月に発生しました豪雨災害を踏まえ、町では今年度、地域防災計画の見直しを行うほか、防災行政無線の更新に係る調査設計を行います。

災害に対する備えを今まで以上に強化し、町民の皆様の安全・安心の確保に努めてまいります。

今年度におきましても、被災者支援、災害復旧事業を最優先に大規模な予算編成となっておりますが、財政規律を緩めることなく行政運営に取り組んでまいります。

それでは、ただいまから提出議案に対する提案理由をご説明申し上げます。

**議案第45号** 令和7年度内灘町一般会計補正予算（第2号）につきましては、歳入歳出それぞれ22億6,540万円を増額し、歳入歳出の予算の総額を160億790万円とするほか、地方債の補正及び繰越明許費を併せて計上するものでございます。

歳出の主なものとしたしましては、先ほど申し上げました災害関連予算及び政策関連予算のほか、国の社会資本整備総合交付金などの補助内示に伴う道路新設改良及び消雪施設整備に係る工事費などを計上しております。

そのほか、国の物価高騰対策に係る定額減税不足額給付事業や、定期人事異動に伴う人件費の補正などを計上いたしました。

歳入の主なものとしたしましては、各種災害復旧事業に係る国庫支出金などの増額補正のほか、給食費無償化に伴う小中学校給食費の減額補正などを計上しております。

**議案第46号** 令和7年度内灘町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）及び**議案第47号** 令和7年度内灘町後期高齢者医療特別会

計補正予算（第1号）、以上2議案につきましては、震災に伴う保険税、保険料の追加減免に係る還付金などの増額補正でございます。

**議案第48号** 令和7年度内灘町介護保険特別会計補正予算（第1号）につきましては、介護保険システムの改修に伴う委託料の増額補正でございます。

**議案第49号** 令和7年度内灘町水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、配水施設の長寿命化に係る工事費などの増額補正を計上いたしました。

**議案第50号** 令和7年度内灘町下水道事業会計補正予算（第1号）につきましては、国の補助内示に伴う建設改良費などの増額補正を計上いたしました。

**議案第51号** 機構改革に伴う関係条例の整備に関する条例の制定につきましては、本年7月1日より「復旧復興推進部」を新設する機構改革を行うため、部制条例など関係条例において所要の改正を行うものでございます。

**議案第52号** 一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例につきましては、役職定年後の職員が就く役職を新設するため、所要の改正を行うものでございます。

**議案第53号** 内灘町半島振興対策実施地域における固定資産税の特例に関する条例の一部を改正する条例につきましては、関係省令の改正により、固定資産税の特例措置である不均一課税の適用期間を延長するなど、所要の改正を行うものでございます。

**議案第54号** 財産の取得につきましては、学習用タブレット端末2,383台の購入において、石川県GIGAスクール構想推進協議会が実施した、共同調達に係る企画提案審査委員会で選定された業者と随意契約を締結するため、議会の議決を求めるものでございます。

次に、報告に関するものでございます。

**報告第1号** 令和6年度内灘町一般会計繰越明許費繰越計算書につきましては、地方自治法施行令第146条第2項の規定により、繰

越明許費繰越計算書を作成し、報告するもの  
でございます。

**報告第2号** 令和6年度内灘町水道事業会計予算繰越計算書及び**報告第3号** 令和6年度内灘町下水道事業会計予算繰越計算書につきましては、地方公営企業法第26条第3項の規定により、それぞれ繰越計算書を作成し、報告するものでございます。

**報告第4号** 内灘町土地開発公社の経営状況につきましては、地方自治法第243条の3第2項の規定により、出資法人の経営状況を説明する書類として、令和6年度における事業報告及び決算並びに令和7年度事業計画及び予算を報告するものでございます。

以上、今回提出いたしました議案についての提案理由並びにその概要でございます。

何とぞ慎重にご審議いただき、適切なるご決議を賜りますようお願いを申し上げまして、私の説明を終わります。

ご清聴ありがとうございました。

**○議長【七田満男君】** 提案理由の説明は終わりました。



## ○散 会

**○議長【七田満男君】** 以上で本日の日程は終了いたしました。

お諮りいたします。明日4日は、議案調査のため休会にいたしたいと思っております。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

**○議長【七田満男君】** ご異議なしと認めます。よって、明日4日は休会とすることに決定いたしました。

次回の本会議は5日午前10時から開き、提出議案に対する質疑、委員会付託並びに町政に対する一般質問を行います。

本日はこれにて散会いたします。

ご苦労さまでした。

午後2時05分散会